

## 事業方式について

### 【事業方式の概要】

		施設の所有		資金調達		仕様・設計・建設	運営・維持管理	モニタリング
		建設時	運営時					
高 ↑ 行政の関与度 ↓ 低	公設公営	直営		行政	行政	行政	行政	-
		管理・運営委託	単年度					
	複数年年度							
	公民連携 (PPP)	公設民営	公設+長期包括【現状】					
DBO方式								
民設民営 (PFI)		BTO方式		民間	民間	民間:融資等	民間 (事業契約)	行政/金融機関  金融機関
		BOT方式						
		BOO方式						

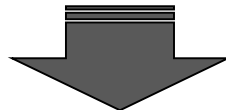
### 【十勝環境複合事務組合における事業方式の変遷】

処理施設	時期	事業方式
帯広清掃工場	昭和53年9月～平成8年10月	直営方式 <b>公設公営</b>
くりりんセンター	平成8年10月～平成23年3月	管理運営委託(単年度・随意契約) <b>公設公営</b>
	平成23年4月～平成38年3月(予定)	長期包括委託 <b>公設民営</b>

#### <長期包括的運転維持管理を採用した主な理由>

- ・長期間の委託に伴う運転管理技術の向上による安定稼働
- ・維持補修(基幹的整備含む)経費の平準化
- ・各種法定資格保有者※や技術者の確保

※ 廃棄物処理施設技術管理者、電気主任技術者、ボイラー・タービン主任技術者



○ 当組合のごみ処理施設における事業方式の変遷を踏まえ、安定・継続性を重視し、「公設公営方式」によらず、現在採用している事業方式である「公民連携(PPP)方式」とする。

○ 他自治体の事例や循環型社会形成推進交付金及び起債の活用を総合的に勘案の上、DBO方式とBTO方式に重点を置いて検討を進めていきたい。